

3 出版

【概要】

歴博では調査・研究活動の成果を広く公開すべく、多様な出版物を編集・刊行している。それらは、大学共同利用機関法人として内外の研究者たちが協同しておこなってきた調査・研究や、博物館における地域との連携などさまざまな活動の成果を、専門家のみならず広く市民に伝える役割を担っている。

2022年度は、研究報告6冊、展示図録2冊、歴史と文化への好奇心をひらく『REKIHAKU』3冊を刊行した。さらに、国際交流や機構連携研究のプロジェクトの成果として、研究集会やシンポジウムなどの内容をまとめた報告書などを適宜、作成した。

広報連携センター 橋本 雄太

【国立歴史民俗博物館研究報告】

第235集 (2022.9)
[共同研究]
日本列島社会の歴史とジェンダー

共同研究・展示の経過と概要 横山 百合子
[論文] 殯宮儀礼の主宰と太后 仁藤 敦史
[論文] 金井沢碑の「現在侍家刀自」再考 義江 明子
[論文] 古代の政治空間のなかの女性 伊集院 葉子
[研究ノート] 古代の文字文化とジェンダーに関する覚書 三上 喜孝
[論文] 中世武家所領と女性の相続 久留島 典子
[論文] 中世末～近世初女性の地位をめぐって 小島 道裕
[論文] 中世後期の遊女屋をめぐる社会観念 辻 浩和
[論文] 「御城使」としての奥女中 柳谷 慶子
[論文] 幕末維新时期新吉原遊廓における遊女屋・遊客・遊女 横山 百合子
[研究ノート] 豪商と遊廓 村 和明
[研究ノート] 萩城下の民衆世界における女性 森下 徹
[論文] 逋信省における女性の雇員と判任官 松沢 裕作
[研究ノート] 労働省婦人少年局と地方職員室・序説 長 志珠絵
[論文] 古代戸籍のなかの母子 田中 禎昭
[研究ノート] 腰機と女性 東村 純子
[研究ノート] ジェンダー史としての天保改革と江戸 エイミー・B・スタンリー
[論文] 近代における風俗史研究と美人画の着物 澤田 和人
[論文] 明治後期～大正期日本の梅毒罹患と地域社会 廣川 和花
[研究ノート] 田植えと女性 関沢 まゆみ
[研究ノート] 国民国家形成と〈青年〉試論 加藤 千香子
[資料紹介] 博物館関係者のための手引書「博物館とジェンダー」 横田 あゆみ

第236集 (2022.10)
[共同研究]
学知と教育から見直す近代日本の歴史像

共同研究「学知と教育から見直す近代日本の歴史像」の経過と概要 樋口 雄彦
[論文] 尋常小学唱歌楽曲委員楠美恩三郎 北原 かな子
[論文] 明治初年の博覧会と地域社会 塩原 佳典
[研究ノート] 幕臣柴田剛中日記にみる書籍と公務・生活 樋口 雄彦
[資料紹介] 福島琴蔵(編)『アイヌ語の訳解』 奥田 統己
[論文] 近代殖産興業政策の展開と博覧会参加 落合 功

第237集 (2022.11)
[新学術領域研究「ヤボネシアゲノム」計画研究]
考古学データによるヤボネシア人の歴史の解明

研究の経緯 藤尾 慎一郎
[調査研究活動報告] 考古学データによるヤボネシア人の歴史の解明 藤尾 慎一郎・木下 尚子・坂本 稔
瀧上 舞・篠田 謙一
[論文] 考古学データとDNA分析からみた弥生人の成立と展開 藤尾 慎一郎・篠田 謙一・坂本 稔・瀧上 舞
[論文] 弥生貝交易の中継地 木下 尚子
[調査研究活動報告] 鳥取県内古墳群出土人骨のミトコンドリアDNA分析Ⅰ 神澤 秀明・角田 恒雄・安達 登
篠田 謙一・濱田 竜彦
[調査研究活動報告] 広島県府中市山ノ神1号古墳の年代学的調査 清家 章・坂本 稔・瀧上 舞
[調査研究活動報告] 福岡県行橋市長井遺跡出土弥生人骨の年代学的調査 藤尾 慎一郎・坂本 稔・瀧上 舞
[調査研究活動報告] 熊本大学医学部所蔵人骨のミトコンドリアDNA分析 神澤 秀明・角田 恒雄・安達 登・篠田 謙一

[調査研究活動報告] 鹿児島県南さつま市高橋貝塚の年代学的調査 木下 尚子・坂本 稔・瀧上 舞
 [調査研究活動報告] 鹿児島県宝島大池遺跡A地点の年代学的調査 木下 尚子・坂本 稔・瀧上 舞
 [調査研究活動報告] IntCal20とMarine20による「ヤポネシアゲノム」較正年代の再計算 坂本 稔・瀧上 舞

第238集 (2023.3)
 [共同研究]
 高精度同位体比分析法を用いた古代青銅原料の産地と採鉱に関する研究

共同研究の経過と概要 齋藤 努
 [研究ノート] 史跡周防鋳銭司跡出土遺物の産地推定と長登鉾山の特異性 今岡 照喜・齋藤 努
 永瀧 真理子・田中 晋作
 [研究ノート] 山口県域における古墳時代の銅原料生産遺跡について 田中 晋作
 [研究ノート] 史跡周防鋳銭司跡などから出土した資料の鉛同位体比分析

齋藤 努・青島 啓・齋藤 大輔・
 森福 洋二・永瀧 真理子
 今岡 照喜・田中 晋作

[調査研究活動報告] 史跡周防鋳銭司跡出土の鉛製鍾の走査電子顕微鏡による表面観察と成分分析
 今岡 照喜・森福 洋二・田中 晋作・齋藤 努
 [研究ノート] 奈良時代における銅の消費(銅製品の生産)について 古尾谷 知浩
 [研究ノート] 『対馬貢銀記』の再検討 荒木 和憲

第239集 (2023.3)
 [共同研究]
 近世近代転換期東アジア国際関係史の再検討—日本・中国・シヤムの相互比較から—

共同研究の経過と概要 福岡 万里子
 [論文] アヘン戦争前清朝の海外貿易と「牌照」 彭 浩
 [論文] 乾隆帝の勅諭と第2次澳門占領事件 村尾 進
 [研究ノート] 国王モンクットとシヤム・イギリス修好通商条約 (1855) 小泉 順子
 [論文] パウリングとの比較からみるハリスの対シヤム条約交渉 福岡 万里子
 [研究ノート] 外交文書に見る朝鮮海通漁の成立

松田 睦彦
 [論文] 南北戦争と東アジア 横山 伊徳
 [研究ノート] 幕末期徳川將軍書簡の古文書学的検討 荒木 和憲
 [資料紹介] 史料紹介 佐々木脩輔『御備場御用留』 三谷 博

第240集 (2023.3)

[論文] 近世陰陽師の祭祀と祭文—奈良暦師吉川家文書の地鎮祭の祭文を中心に— 松山 由布子
 [論文] 近世における江戸暦問屋と大小暦—『暦記録』

にみる幕府統制の実態— 小田島 梨乃
 [論文] 奈良弘暦者・吉川家の近代—陰陽師の身分喪失と暦師の家業継続— 下村 育世
 [論文] 節合される声とモノ、共創される「津波文化」—リアス・アーク美術館の震災展示から— 川村 清志
 [論文] 昔話「三枚のお札」と謡曲「黒塚」「山姥」—山と里の対比から— 津金 滯乃
 [研究ノート] 播磨国矢野荘研究の軌跡と展望—(一九三二～二〇一九)— 赤松 秀亮
 [資料紹介] 歴史家への道程—塚本学日記— 小池 淳一
 [資料紹介] 旗本土着と戊辰戦争—伊豆の松下加兵衛とその周辺— 樋口 雄彦
 [調査研究活動報告] 熊本大学医学部所蔵熊本県内古墳出土人骨の年代学的調査—辻古墳・経塚古墳・向野田古墳・千崎古墳群・桐ノ木尾ばね古墳・成合津2号墳・中大村石棺群・下大村石棺・大鼠蔵山古墳・瓜山横穴墓— 清家 章・坂本 稔・瀧上 舞
 [調査研究活動報告] 熊本大学医学部所蔵弥生時代の人骨の年代学的調査—笹尾遺跡・神水遺跡・畑中遺跡・大坪貝塚— 藤尾 慎一郎・瀧上 舞・坂本 稔
 [調査研究活動報告] 考古学データによるヤポネシア人の歴史の解明—2021年度の調査 (1) —

藤尾 慎一郎・木下 尚子・山田 康弘
 清家 章・坂本 稔
 瀧上 舞・篠田 謙一

[調査研究活動報告] 井上文庫の整理と調査

服部 一隆

[展示図録]

『加耶—古代東アジアを生きた、ある王国の歴史—』 (2022.10)
 『いにしえが、好きっ!—近世好古図録の文化誌—』 (2023.3)

[歴史と文化への好奇心をひらく『REKIHAKU』]

[特集] 人工知能の現代史

REKIHAKUのコンセプト
 AI登場前後の研究の流れを概観する 「人工知能」前史—機械の脳とサイバネティクス 杉本 舞
 人工知能をめぐるジェンダーの問題●COLUMN AIはだれの顔をしているのか? 小澤 京子
 60年以上にわたるAI研究の歴史 AI研究史概観—ダートマス会議から深層学習の登場まで 橋本 雄太
 人工知能とロボットの倫理をめぐる歴史●COLUMN AIが制御できなくなったら? 久木田 水生
 社会に進出するコンピューターがもたらす議論 「人工

知能」と社会——一九六〇年代を中心に 喜多 千草
日本人はどのように「考える機械」を受け入れたのか●
COLUMN 日本における人工頭脳としてのコンピュータ
タの受容 前山 和喜
次世代コンピュータ開発への日本の挑戦 第五世代コ
ンピュータープロジェクト——一九八〇年代の日本
林 晋
個人用コンピュータがまだ実用品ではなかった時代の
思い出●COLUMN 四〇年前のマイコンプログラムと
カセットテープ 鈴木 卓治
国家の統治技法としてのサイバネティクスとその実践●
COLUMN サイバネティクスと社会主義——サイバー
シン計画 1970-73 河西 棟馬
「人工知能の現代史」用語集
たかが歴史 されど歴史 元号（年号）字の決定権
小倉 慈司
博物館マンガ 第5回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物
館 大型展示物の掃除はとっても大変！ 鷹取 ゆう
石出奈々子のれきはく！探検 第5回 お米のチカラ
西の地カラ
フィールド紀行 掘る、歩く、感じる 遺跡から未来へ
第2回●古墳時代社会像を構築する（岡山から全国へ）
松木 武彦
誌上博物館 歴博のイッピン 描かれた職人たち 東北
院職人歌合 村木 二郎
歴史研究フロンタライン アワビから読み解く古代史
清武 雄二
EXHIBITION 歴博への招待状 特集展示「もの」か
らみる近世 水滸伝ブームの広がり」 大久保 純一
SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦 樹木年輪がみち
びく高精度年代研究の新境地 箱崎 真隆
歴史デジタルアーカイブ事始め 第4回 国立公文書館
アジア歴史資料センター 橋本 雄太
くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の朝顔」のご案内
博物館のある街 高知県立高知城歴史博物館のある街、
高知城下町 藤田 雅子
くらしの由来記 アクセサリーの今昔 高田 貫太
研究のひとしづく 変わりゆく葬儀 第2回●供物をこ
しらえる 山田 慎也
Kaleidoscope of History Pleistocene Fossils of Wolves
in Japan: NAORA Nobuo Collection 工藤 雄一郎
歴博友の会 会員募集
英文目次

〔特集〕歴史の「匂い」

REKIHAKUのコンセプト
日中韓の文化のなかの「匂」・「臭」・「香」 日中韓の「に
おい」・「かおり」文化 方 国花

それは自然の恵みに支えられた豊かな生活だったか●
COLUMN 縄文の「におい」 山田 康弘
歴史史料のなかに匂い・悪臭を感じてみる 日本古代史
の匂い——天皇即位儀と環境 三宅 和朗
愛煙家、本居宣長●COLUMN 思想のニオイ
天野 真志
「臭気」という言説により再構成される差別 近代都市
の「臭気」と差別——スラムと部落をめぐって
吉村 智博
生活から隔離されてゆく火葬場と消えゆく煙突●
COLUMN 火葬の臭煙と煙突のゆくえ 山田 慎也
非日常的な戦争の特異な状況とニオイは重なって記憶さ
れていた 沖縄戦における陸軍病院壕内の「ニオイ」の
再現 上地 克哉
作家の感性ゆえに記述されたににおい 朴婉緒（パクワン
ソ）の小説に見る「匂い」と「復讐」 斎藤 真理子
松井章と網野善彦の臭気をめぐる対話から●COLUMN
歴史と「匂い」 小倉 慈司
特集をもっと詳しく知りたい人へ おすすめの4冊
たかが歴史 されど歴史 日本の樹木が炭素14年代法を
変える 坂本 稔
博物館マンガ 第6回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物
館 博物館のおもてなし！ 鷹取 ゆう
石出奈々子のれきはく！探検 第6回 幸せのイワシ臭
フィールド紀行 掘る、歩く、感じる 遺跡から未来へ
第3回（完）●古墳時代の「世界」とは？（世界へ）
松木 武彦
誌上博物館 歴博のイッピン 飛鳥を象徴する石造物
須弥山石 林部 均
歴史研究フロンタライン 古代ゲノムが語る新しい弥生時
代人 ヤポネシアゲノム（YAPONESIAN GENOME）
藤尾 慎一郎
EXHIBITION 歴博への招待状 国際企画展示「加耶—
古代東アジアを生きた、ある王国の歴史—」
高田 貫太
SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦 近代日本におけ
る女性と美人画の関係性を探る 山本 由梨
歴史デジタルアーカイブ事始め 第5回 国立国会図書
館 個人向けデジタル化資料送信サービス 橋本 雄太
くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の古典菊」・「冬
の華・サザンカ」のご案内
博物館のある街 群馬県高崎市 群馬県立歴史博物館と
その周辺 右島 和夫
くらしの由来記 七五三 小池 淳一
研究のひとしづく 変わりゆく葬儀 第3回●故人を送
り出す 山田 慎也
海外の日本研究から LEON DE ROSNY (1837-1914)
Un pionnier des études japonaises en France (première
partie) ギヨーム・カレ
歴博友の会 会員募集

英文目次

[特集] アートがひらく地域文化

特集鼎談 アートと地域の文化をつなぐということ——
芸術祭と地域の歴史・文化のこれから

北川 フラム・川村 清志・南条 嘉毅
民具にまつわるストーリーと新たな価値 民具の「緩やかな保存」——奥能登国際芸術祭「珠洲の大蔵ざらえ」

川邊 咲子
民具はどう作品になっていったのか●COLUMN お祭りと《待ち合わせの森》 大川 友希
陰しく終わりのない珠洲の営み●COLUMN 珠洲への移住とアート×地域社会の関係性 長江 健太
世界を眼差す視点の豊かさをもたらすアーティストの仕事 回遊する眼——海と陸、鯨と人の間の物語を紡ぐ

是恒 さくら
作品を作らなくてもいい世界を望むということ 私が「わたし」として表現すること 八谷 麻衣／マユンキキ
構造化されたフレームを意識する手がかり●COLUMN 「アイヌアート」の展示 内田 順子
たかが歴史 されど歴史 縄文を音楽で表現してみよう

中村 耕作
博物館マンガ 第7回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物館 博物館の魅力を伝えよう！ 鷹取 ゆう

石出奈々子のれきはく！探検 第7回 浮世絵の前で、わたしたちは限りなく自由だ

フィールド紀行 移住持込資料を守り、伝える 北海道開拓移住の記憶と記録 第1回●なぜ北海道に「伊達」——移住持込資料の特質—— 工藤 航平

誌上博物館 歴博のイッピン 元禄時代の修理の際に作成された 東大寺正倉院宝物図 小倉 慈司

歴史研究フロンタイン 巨大加速器で文化財へ潜る 齋藤 努

EXHIBITION 歴博への招待状 企画展示「いにしえが、好きっ！—近世好古図録の文化誌—」 三上 喜孝

SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦 新しい資料と向き合い、炭鉱労働社会の歴史を探る 佐川 享平

歴史デジタルアーカイブ事始め 第6回 デジタルアーカイブ福井 橋本 雄太

くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の桜草」のご案内

博物館のある街 福島県富岡町とみおかアーカイブ・ミュージアム 東日本大震災と原子力災害を地域史に位置づける博物館 門馬 健

くらしの由来記 温泉文化史の魅力 河合 佐知子
研究のひとしづく 変わりゆく葬儀 第4回(完)●故人と別れる 山田 慎也

海外の日本研究から LEON DE ROSNY (1837-1914)
Un pionnier des études japonaises en France(deuxième

partie)

歴博友の会 会員募集

英文目次

ギヨーム・カレ